

ゴシック体: 指導上、安全確保のために重要なポイント

本時(2学年の1／10)

(1)目標

- 前单元を振り返り、相撲の基本知識を理解する。(知識、思考・判断)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
5	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装の確認をする。</p> <p>2. 本单元の目標および学習活動を理解する。</p> <p>3. 本時のねらい、学習内容を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の指示をする。 上下体育着、スポーツシューズ、つめ、ヘアピン、めがね等 ○本单元で必要な用具、施設の説明をする。 まわし、簡易まわし・相撲パンツまたは柔道の帯 土俵、相撲マット、柔道場、または体育館フロア（体操用マットが必要） ※柔道場、体操マットを使用する場合は、俵の代わりにラインテープ等を貼る。 <ul style="list-style-type: none"> ○前单元からの流れを示し、生徒が単元目標および学習活動について理解しやすいように工夫して説明する。 ○学習ノートの使い方について説明し、本单元の目標、学習内容などを記述させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○学習ノートに本時の目標、学習内容などを記述させる。 		
40	<p>4. 前单元の動画を視聴して課題等を確認し、意欲、関心を高める。(10分程度)</p> <p>5. 前单元で学んだ基本知識を確認する。(10分程度) 歴史、特性、礼法、用具など</p> <p>6. 体ほぐしの運動(20分程度)を行う。 蹲踞相撲 陣取り相撲 押し合い相撲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○動画の準備に際しては、課題の確認および意欲の喚起ができるように、内容を吟味する。 ○生徒の関心が高まるように、解説を加える。 <ul style="list-style-type: none"> ○歴史、特性、<u>礼法</u>、<u>用具</u>について、映像や資料などを用いて、概括的に説明する。 ○特に、礼法に関しては、今後の学習と関連づけて、その重要性や方法を強調して説明する。 <p>※指導内容に関して生徒に発言をもとめ、双方向的授業になるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準備運動を行わせる。 ○対戦の前と後に必ず立札をするように指導する。 ○蹲踞相撲では、<u>安全確保の観点</u>から、受け身を重視して行わせる。 ○陣取り相撲および押し合い相撲では、前单元で指導した方法を確認してから、行わせる。 ○前单元で学んだ技術を振り返り、楽しみながら学習できるよう、指導する。 ○教員の「始め」の合図で行わせる。 	<p>○前单元を振り返り、相撲の基本知識を言ったり書き出したりしている。(知識・理解)</p>	<p>○発言・発表、学習ノート</p>
5	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列、挨拶、片づけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○前单元を振り返り、相撲の基本知識に関する発言をしていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容と感想を学習ノートに記入させる。 		

(1)目標

○基本動作(四股)ができる。(技能)

○楽しさや喜びを味わいながら、基本となる技(押し, 寄り)の関連技術の学習に積極的に取り組もうとすることができる。(態度)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい、学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<p>○集合、整列、挨拶の指示をする。</p> <p>○出欠確認および健康観察をする。</p> <p>○服装の確認をする。 上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等</p> <p>○用具の指示をする。 まわし、相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯 ※本指導案では、相撲パンツを使用するものとしてすすめる。</p> <p>○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。</p> <p>○本時の目標、学習内容などを記述させる。</p> <p>○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。</p>		
35	<p>4. 基本動作を確認し、身につける。 蹲踞姿勢、塵淨水 中腰の構え、腰割り、 四股 受け身</p> <p>5. 基本となる技とその関連技術を学習する。(約 束練習) 押し 寄り その関連技術</p>	<p>○塵淨水は、礼法の一つであるので、その意味を意識しながら丁寧に行なうよう指導する。</p> <p>○中腰の構えについては、腰が引けない、膝を開く、肩の力を抜くなどのポイントをおさえ、指導する。</p> <p>○腰割りと四股は、中腰の構えを維持しながら柔軟に動くための練習の一つでもあることを確認する。</p> <p>○四股は、声を掛け合い行なうよう指導する。</p> <p>○四股の練習中に巡回し、技能評価する。以下の要点を押さえているかを観る。</p> <p><要点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中腰の構えから始め、中腰の構えに戻る。 ・足を上げた際、軸足で体のバランスを保つ。 ・ゆっくりと大きな動作で行なう。 <p>○受け身では、蹲踞姿勢から前後左右に転ぶ練習をさせた後、中腰の構えからも練習させる。</p> <p>※単調な活動になりがちであるので、生徒が関心をもって取り組むことができるよう工夫する。 例)誰が一番、ゆったりと安定した四股を踏んでいるか競い合う(四股コンテスト)。</p> <p>○この段階での押しについては、相手との間隔を徐々に広げて、強く当たり素早く押すことができるよう練習する。</p> <p>○押しの関連技術について解説し、練習させる。</p> <p>①低い姿勢から押し上げる。</p> <p><要点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中腰の構えを意識する。 ・押し上げる。 <p>○寄りについては、立ち合いに素早く踏み込み、相手を寄ることができるように練習する。</p> <p>○寄りの関連技術について解説し、練習させる。</p> <p>①下手は深く(後方)取り、上手は浅く(相手のまわしの前方)取る。</p> <p><要点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中腰の構えを意識する。 ・下手は深く、上手は浅く取る。 ・まわしを引きつけて寄る。 	<p>○四股ができる。 (技能)</p>	<p>○観察</p> <p>○楽しさや喜びを味わいながら、基本となる技(押し, 寄り)の関連技術の学習に積極的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)</p>

	<p>6. 簡易的な試合を行う。 押し合い相撲 寄り合い相撲</p> <p>○略式から1歩すすんだ審判法(P120・121, ②簡易的な方法II)について説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始の合図以降は、土俵の外で審判を行う。 ・入場、開始の礼、仕切りの呼びかけを行う。 ・競技開始の宣告および勝負判定を行う。 ・終了の礼の呼びかけおよび勝ち名乗り(勝者の宣告)を行う。 <p>○競技方法について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審判の呼びかけに応じて一連の動作を行う。 <p>○簡易的な試合の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人1組で、1人が審判となり、2人が相撲を取る。 ・相撲の前と後に必ず立礼をする。 ・安全確保のため、<u>押し合い相撲</u>では、常に相手と接触した状態で押し合う。 ・<u>寄り合い相撲</u>では、四つに組んだ体勢から開始し、相手を投げず、寄り合う。 <p>※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。</p> <p>○押し、寄りの練習で学んだことを簡易的な試合の中で発揮するよう指導する。</p>		
8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列、挨拶、片づけをする。</p>	<p>○四股ができていた生徒、および楽しさや喜びを味わいながら、基本となる技(押し、寄り)の関連技術の学習に積極的に取り組もうとしていた生徒を称賛する。</p> <p>○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。</p>	

本時(2学年の3／10)

(1)目標

○基本となる技(押し, 寄り)の関連技術ができる。(技能)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した具体的な評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合, 整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい, 学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<p>○集合, 整列, 挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 　上下体育着, スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 　まわし, 相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯</p> <p>○ねらい, 学習内容を, 生徒が理解しやすいように, 工夫して説明する。 ○本時の目標, 学習内容などを記述させる。</p> <p>○準備運動を行わせる。 特に, 頸部は入念に行わせる。</p>		
35	<p>4. 基本動作を身につける。 運び足, 仕切り 受け身 調体</p> <p>5. 基本となる技とその関連技術を学習する。(約束練習) 押し 寄り その関連技術</p>	<p>○運び足については, 相手を押す姿勢を維持しながら足で前進するように指導する。 ○仕切りは, 2人1組で動作を合わせて, 必ず両方の拳をついて行うよう指導する。 ※運び足と仕切りの練習では, 実戦を意識して行うよう指導する。</p> <p>○受け身では, 中腰の構えから前後左右に転ぶ練習をさせる。あごを引き, 背中を丸めて転がるよう指導する。</p> <p>※生徒が, 受け身の重要性を認識し, 関心をもって取り組むことができるよう工夫する。</p> <p>○調体は, 1年次の指導状況に応じて, 解説するにとどめるなど柔軟に取り扱う。1年次に実施している場合には, 準備運動を兼ねて, 全員で号令に合わせて行うよう指導する。</p> <p>○押しおよび寄りの練習では, 強く当たり素早く前に出しができるよう, 相手との間隔を徐々に広げ, 仕切り線の間隔(70 cm)に近づけるよう指導する。 ○前回の復習をする。その間巡回し, 押しおよび寄りの関連技術の技能評価を行う。以下の要点を抑えているかを観る。 <押しの関連技術①の要点> ・中腰の構えを意識する。 ・押し上げる。 <寄りの関連技術①の要点> ・中腰の構えを意識する。 ・下手は深く, 上手は浅く取る。 ・まわしを引きつけて寄る。 ○新たな押しの関連技術について説明し, 練習させる。 ②脇をしめる。 ③背中を丸める。 <要点> ②肘を身体の前にもっていく。 ③腰を前に出すようにして背中を丸める。 ○新たな寄りの関連技術について説明し, 練習させる。 ②差した側の腕を返す <要点> ②肘を上げて腕を返す。</p>	<p>○基本となる技(押し, 寄り)の関連技術ができる。(技能)</p>	○観察

	<p>6. 簡易的な試合を行う。 押し合い相撲 寄り合い相撲</p> <p>○簡易的な試合を行う前と後に必ず立礼をするように指導する。 ○3人1組で、2人が相撲を取り、1人は審判とする。 ○安全に配慮し、ルールを守って試合を行うよう指導する。 ○押し、寄りの練習で学んだことを簡易的な試合の中で発揮するよう指導する。</p> <p>※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。 ※試合の中での良い例(低い姿勢から押し上げている)や悪い例(腰が高い、脇が開くなど)を示し、解説する。</p>	
8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列、挨拶、片づけをする。</p> <p>○押し、寄りの関連技術ができていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。</p>	

(1)目標

○相撲の練習により高まる体力について理解する。(知識、思考・判断)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい、学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<p>○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 　上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 　まわし、相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯</p> <p>○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標、学習内容などを記述させる。</p> <p>○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。</p>		
35	<p>4. 関連して高まる体力について理解する。</p> <p>立ち合い、受け身</p> <p>5. 基本動作を身につける。</p>	<p>○相撲の練習により高まる体力について説明する。 ・四股により、下肢の筋力・筋持久力・柔軟性および平衡性が高まる。 ・腰割りにより、下肢の筋力・筋持久力が高まる。 ・調体により、上肢の筋力・筋持久力が高まる。 ・立ち合いからの押し、寄りの練習や相撲を取ることにより、瞬発力や敏捷性が高まる。 ※相撲の練習では、力の強さ、粘り強さ、体の柔らかさ、すばしっこさなどの中でどのような能力が高まると思うか、生徒に問い合わせるなど、生徒自身の考えを引き出しながら理解を深めるよう工夫する。</p> <p>○運び足を復習させる。</p> <p>○2人1組の対人で受ける側を決め、<u>立ち合い</u>の練習をさせる。(約束練習) <立ち合いの要点> ・仕切りの構えから、なるべく低い姿勢のまま踏み込む。 ・すり足で踏み込む。 ・素早く踏み込み、相手の胸に当たる。</p> <p>○受け身では、中腰の構えからの受け身ができるように練習する。</p>	<p>○相撲の練習により高まる体力について書き出している。(知識・理解)</p>	○学習ノート
	<p>6. 基本となる技とその関連技術を学習する。(約束練習) 投げ技(出し投げ) その関連技術</p>	<p>○寄りからの連続技の代表的な一つである出し投げの練習をさせる。 ○出し投げの要点について説明する。 <要点> ・相手のまわしの前の方を取って投げる。 ・身体を開いて横に出すように投げる。 ○<u>出し投げ</u>については、寄りをより効果的にするものと理解させ、寄り→出し投げ→寄りという連続技として用いるように指導する。</p> <p>○出し投げの関連技術について説明し、練習させる。 ①前へ出て相手に圧力をかけてから投げる。 <要点> ①素早く前に出る。</p>		

	<p>7. 簡易的な試合を行う。 複数の基本となる技に限定した相撲</p> <p>○簡易的な試合を行う前と後に必ず立礼をするように指導する。 ○3人1組で、2人が相撲を取り、1人は審判とする。 ○<u>禁止されている技・行為、授業で禁止している技・行為について説明する。</u> ○対人的技能の練習で学んだことを簡易的な試合の中で積極的に発揮するよう指導する。</p> <p>※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。 ※試合の中での立ち合いの良い例や悪い例を示し、解説する。</p>		
8	<p>8. 整理運動を行う。</p> <p>9. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>10. 整列、挨拶、片づけをする。</p>	<p>○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。</p>	

(1)目標

- 基本動作(立ち合い)ができる。(技能)
- 学習した安全上の知識を、練習や試合のさまざまな場面に活用することができる。(知識、思考・判断)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい、学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわし、相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯 <ul style="list-style-type: none"> ○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標、学習内容などを記述させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。 		
35	<p>4. 基本動作を身につける。 四股、運び足 立ち合い、受け身</p> <p>5. 基本となる技を学習する。(約束練習) 前さばき 押つけ 絞り込み いなし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○四股および運び足は、準備運動として全員で練習させる。 ○立ち合いについては、2人1組の対人で行わせる。 ○立ち合いの練習時に巡回し、技能評価する。以下の要点をおさえているかを観る。 <要点> <ul style="list-style-type: none"> ・仕切りの構えから、なるべく低い姿勢のまま踏み込む。 ・すり足で踏み込む。 ・素早く踏み込み、相手の胸に当たる。 ○受け身では、2人1組で、中腰の構えから受ける側の右胸に当たり、身体を丸めて右腕から回転するよう指導する。 ○左右反対からの受け身も合わせて練習させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○前さばきを解説する。 <ul style="list-style-type: none"> <押つけの要点> ・相手の肘に手を当てて、下から上へ押す。 ・脇をしめて、相手の差し手からの攻撃を防ぐ。 <ul style="list-style-type: none"> <絞り込みの要点> ・相手の肘をつかみ、内側にねじるようにする。 ・脇をしめて、相手の差し手からの攻撃を防ぐ。 <ul style="list-style-type: none"> <いなしの要点> ・前へ出てからいなす。 ・体を大きく開き側方に押すようにいなす。 <ul style="list-style-type: none"> ○2人1組で、技をかける側と受ける側を決めて練習させる。 ○左右反対側からも同様に練習させる。 ○押つけと絞り込みについては、安全確保のため、受ける側が関節を痛めることのないように指導する。 <p>※約束練習および反復練習の方法を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本動作(立ち合い)ができる。(技能) 	○観察能

	<p>6. 簡易的な試合を行う。 既習の技に限定した相撲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○簡易的な試合を行う前と後に必ず立礼をするように指導する。 ○3人1組で、2人が相撲を取り、1人は審判とする。 ○安全に配慮し、試合の際には、禁止事項を行わないよう指導する。 ○基本となる技の練習で学んだことを、簡易的な試合の中で発揮するよう指導する。 ※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。 ※試合の中での立ち合いや前さばきの良い例や悪い例を示し、解説する。 	<p>○学習した安全上の知識を、練習や試合のさまざまな場面に活用している。(思考・判断)</p>	<p>○観察、学習ノート</p>
8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列、挨拶、片づけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○立ち合いができていた生徒および学習した安全上の知識を、練習や試合のさまざまな場面に活用していた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。 	

本時(2学年の6／10)

(1)目標

- 基本となる技(出し投げ)とその関連技術ができる。(技能)
- 技の名称や方法について理解する。(知識, 思考・判断)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい、学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわし、相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯 <ul style="list-style-type: none"> ○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標、学習内容などを記述させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。 		
	<p>4. 基本動作を身につける。 四股、運び足 立ち合い、受け身</p> <p>5. 基本となる技とその関連技術を学習する。(約束練習) 寄りとその関連技術 前さばき 巻き返し 投げ技とその関連技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○四股および運び足は、準備運動として全員で行わせる。 ○立ち合いについては、2人1組の対人で行う。 仕切りから、受ける側に素早くかつ強く当たるよう指導する。 ○受け身では、中腰の構えから受ける側の右胸に当たり、身体を丸めて右腕から回転するよう指導する。 <受け身の要点> ・あごを引いく。 ・背中を丸めて転がる。 ○左右反対からの受け身も合わせて練習させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○2人1組で、技をかける側と受け側を決めて練習させる。 ○右四つ・左四つ、まわしの取り方および腕の返し・上手の引きつけについて確認し、復習させる。 ○新たな寄りの関連技術について解説し、練習させる。 <u>③下手側に寄る</u> <u>④吊り寄り</u> <u>⑤がぶり寄り</u> ○要点 ③相手に身体を寄せるようにして寄る。 ④相手よりも重心を下げ、吊りながら寄る。 ⑤相手の身体を揺すって寄る。 ○前さばき(巻き返し)について解説し、練習させる。 <巻き返しの要点> •上手を離し、相手の体と自分の体の間に空間をつくり、上手を下手に素早く入れかえる。 		

35	<p>○出し投げについて確認し、復習させる。 ○新たな出し投げの関連技術について解説し、練習させる。 ②前へ出て、相手が踏ん張ったところで、身体を開いて投げる。 ③投げをうった後、さらに前へ出る。</p> <p><要点> ②タイミングを捉えて投げる。 ②相手が倒れるスペースを作る。 ③相手がバランスを崩したらすぐに前に出る。</p> <p>○練習中に巡回して、出し投げおよびその関連技術①の技能評価を行う。</p> <p><要点> •相手のまわしの前方を取って投げる。 •身体を開いて投げる。 •素早く前に出て投げる。</p> <p>※約束練習および反復練習の方法を理解させる。</p>	<p>○出し投げとその関連技術ができる。(技能)</p>	<p>○観察</p>	
6.	既習の技、関連技術を整理、確認する。	<p>○基本となる技とそれらの関連技術について確認し、学習ノートにまとめさせる。 ※資料や掲示物を用いて振りかえさせる。</p>	<p>○技の名称や方法について書き出している。(知識・理解)</p>	<p>○学習ノート</p>
7.	簡易的な試合を行う。 既習の技に限定した相撲	<p>○簡易的な試合を行う前と後に必ず立札をするように指導する。 ○3人1組で、2人が相撲を取り、1人は審判とする。 ○安全に配慮し、試合の際には、禁止事項を行わないよう指導する。 ○基本となる技の練習で学んだことを簡易的な試合の中で發揮するよう指導する。</p> <p>※体格や習熟度が同程度の者同士で、相手を変えて複数回行わせる。 ※試合の中での寄り、前さばきおよび出し投げの良い例や悪い例を示し、解説する。</p>		
8	8. 整理運動を行う。 9. 本時の評価と次時の課題を整理する。 10. 整列、挨拶、片づけをする。	<p>○出し投げとその関連技術ができていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。</p>		

(1)目標

- グループ学習や簡易試合の際に、仲間に助言しようとすることができる。(態度)
- グループ学習の中で、自身の課題を探し、その課題に応じた練習の方法を選ぶことができる。(知識、思考・判断)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	<p>1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。</p> <p>2. 本時のねらい、学習内容を理解する。</p> <p>3. 準備運動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわし、相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯 <ul style="list-style-type: none"> ○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標、学習内容などを記述させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。 		
35	<p>4. 基本動作を練習する。 四股、運び足 受け身</p> <p>5. 基本となる技とその関連技術を学習する。(グループ学習) 押しとその関連技術 寄りとその関連技術 前さばき 投げ技とその関連技術</p> <p>6. 簡易的な試合を行う。 試合方式および審判法を学習する。</p> <p>複数の技を用いた体格別の試合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○四股、運び足および受け身を、準備運動として行わせる。 ○受け身では、2人1組となり、受ける側に当たり、身体を丸めて転がるように指導する。 ○左右2回ずつ程度行わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○押し、寄り、出し投げとそれらの関連技術および前さばきを振り返り、整理させる。 ○押しグループと寄りグループに分け、それぞれのグループ内で4～5人程度の小グループを編成し、練習させる。 ○押しグループでは、押しとその関連技術および関連した前さばき(押つけ、絞り込み、いなし)を練習させる。 ○寄りグループでは、寄りとその関連技術、関連した前さばき(巻き返し)および投げ技を練習させる。 ○練習では、小グループ内で相談し、自由に練習方法を考え活動するように指導する。 <p>※自由練習の方法を学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未習の投げ技(上手投げ、下手投げ、小手投げ、すくい投げ)について解説する。 <ul style="list-style-type: none"> ○団体戦、個人戦、トーナメント方式、リーグ戦方式について解説する。 ○競技方法、審判法(P120・121, ③簡易的な方法III), および記録と進行(アナウンス)の方法について説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ○体格別に3グループ程度に分ける。 ○各グループでトーナメント戦方式またはリーグ戦方式で個人戦を行わせる。 ○審判、記録係、進行係は、対戦のない者に交替で行わせる。 ○試合を行う前と後に必ず立札をするように指導する。 ○安全に配慮し、試合の際には、禁止事項を行わないよう指導する。 <p>※自分や仲間の試合を通して気づいた点や改善すべき点について、アドバイスし合ったり、学習カードに書き留めたりするよう指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ学習の中で、自身の課題を探し、その課題に応じた練習の方法を選んでいる。(思考・判断) 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、発言・発表、学習ノート <p>○観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ学習や簡易試合の際に、仲間に助言しようとしている。(関心・意欲・態度)

8	<p>7. 整理運動を行う。</p> <p>8. 本時の評価と次時の課題を整理する。</p> <p>9. 整列, 挨拶, 片づけをする。</p>	<p>○グループ学習の中で課題を探し, その結果を練習に活かしていた生徒および仲間に助言していた生徒を称賛する。</p> <p>○各自に, 本時の学習内容, 自己評価, 課題, 感想を学習ノートに記入させる。</p>

本時(2学年の8／10)

(1)目標

- 禁止事項を行わないなど、安全に留意して簡易的な試合に取り組むことができる。(態度)
- 簡易的な試合の中で、役割を分担し、その役割に応じた協力の仕方を見付けることができる。(知識、思考・判断)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。 2. 本時のねらい、学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわし、相撲パンツ・簡易まわしままたは柔道の帯 		
35	4. 基本動作を練習する。 四股、運び足 受け身 5. 簡易的な試合を行う。 試合方式および審判法の確認 団体戦	<ul style="list-style-type: none"> ○四股、運び足および受け身を、準備運動として行わせる。 ○受け身では、2人1組となり、受ける側に当たり、身体を丸めて転がるように指導する。 ○左右2回ずつ程度行わせる。 ○体格が、比較的小さい者を先鋒、二陣に、中程度以上の者を中堅、副将、大将に配置し、団体戦5人制のチームを編成する。 ○競技方法、審判法、および記録と進行の方法について確認する。 ○実際の試合では、対戦がないチームの者が審判、記録係、進行係を分担して行うよう指示する。 ○塵淨水、勝負が決した後の立礼および勝ち名乗りについて確認する。 ○禁止されている技・行為、授業で禁止している技・行為について確認する。 ○団体戦トーナメント戦またはリーグ戦を行う。 ○1回の団体戦試合で、5対戦のうち3勝以上したチームを勝ちとする。 ○5対戦が終了する前にチームの勝敗が決定した場合でも、大将戦まで行う。 ※自分や仲間の試合を通して気づいた点や改善すべき点について、アドバイスし合ったり、学習カードに書き留めたりするよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○禁止事項を行わないなど、安全に留意して簡易的な試合に取り組んでいく。(関心・意欲・態度) ○簡易的な試合の中で、役割を分担し、その役割に応じた協力の仕方を見付けている。(思考・判断) 	○観察 ○観察、学習ノート
8	6. 整理運動を行う。 7. 本時の評価と次時の課題を整理する。 8. 整列、挨拶、片づけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○安全に留意して簡易的な試合に取り組もうとしていた生徒、および役割を分担し、その役割に応じた協力の仕方を見ていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。 		

本時(2学年の9／10)

(1)目標

- 相手の動きに応じながら、基本動作、基本となる技およびそれらの関連技術を用いて、攻防を展開できる。(技能)
- 礼法・所作を行い、相手を尊重する態度を示そうとすることができる。(態度)

(2)展開

時間 ・ 分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した 具体的評価規準	評価方法
7	1. 集合、整列および挨拶をする。健康および服装・用具の確認をする。 2. 本時のねらい、学習内容を理解する。 3. 準備運動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認および健康観察をする。 ○服装の確認をする。 上下体育着、スポーツシューズ(靴下着用), つめ, ヘアピン, めがね等 ○用具の指示をする。 まわし、相撲パンツ・簡易まわしまたは柔道の帯 <ul style="list-style-type: none"> ○ねらい、学習内容を、生徒が理解しやすいように、工夫して説明する。 ○本時の目標、学習内容などを記述させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○準備運動を行わせる。 特に、頸部は入念に行わせる。 		
35	4. 基本動作を練習する。 四股、運び足 受け身 5. 簡易的な試合を行う。 試合方式および審判法の確認 習熟度別個人戦	<ul style="list-style-type: none"> ○四股、運び足および受け身を、準備運動として行わせる。 ○受け身では、2人1組となり、受ける側に当たり、身体を丸めて転がるように指導する。 ○左右2回ずつ程度行わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○習熟度別に3グループ程度に分ける。 ○リーグ戦の対戦順や運営方法について説明する。 ○競技方法、審判法、および記録・進行・ビデオ撮影の方法について確認する。 ○実際の試合では、対戦がない者が審判、記録係、進行係、撮影係を分担して行うよう指示する。 ○相撲を取る前の塵淨水(もしくは立札)と後の立札および勝ち名乗りについて確認する。 ○安全に配慮し、試合の際には、禁止事項を行わないよう指導する。 ○習熟度別個人トーナメント戦またはリーグ戦を行う。 <p>※自分や仲間の試合を通して気づいた点や改善すべき点について、アドバイスし合ったり、学習カードに書き留めたりするよう指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○礼法・所作を行い、相手を尊重する態度を示そうとしている。(関心・意欲・態度) ○相手の動きに応じながら、基本動作、基本となる技およびそれらの関連技術を用いて、攻防を展開できる。(技能) 	○観察 ○観察
8	6. 整理運動を行う。 7. 本時の評価と次時の課題を整理する。 8. 整列、挨拶、片づけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○礼法・所作を行い、相手を尊重する態度を示していた生徒、および相手の動きに応じながら、基本動作、基本となる技およびそれらの関連技術を用いて、攻防を展開できていた生徒を称賛する。 ○各自に、本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入させる。 		

本時(2学年の10／10)

(1)目標

- 本单元で学んだ相撲の基本的事項について理解する。(知識, 思考・判断)
- 試合の行い方や武道の伝統的な考え方について理解する。(知識, 思考・判断)

(2)展開

時間・分	学習活動	指導上の留意点	学習活動に即した具体的な評価規準	評価方法
5	1. 集合、整列および挨拶をする。 2. 本時のねらい、学習内容の説明	○集合、整列、挨拶の指示をする。 ○出欠確認をする。 ○本時の目標、学習内容などを説明し、記述させる。 ○団体戦のチームごとに整列させる。		
35	3. 単元の要点を記述する。 筆記試験 4. 学習成果を確認する。 映像視聴と表彰 5. 学習成果の評価、発表を行う。	○単元全体の要点を抑えた内容とする。 <要点> ・基本となる技およびその関連技術 ・相撲の練習により高まる体力など ○団体戦および個人戦を撮影した映像を視聴させる。 ○団体戦および個人戦の3位までを表彰する。 ○敢闘賞および技能賞を表彰する。 ○チーム・ミーティング これまでの練習の方法や試合の行い方について整理するとともに、団体戦、個人戦の結果を振り返り、学習の成果、課題を学習ノートにまとめるよう指示する。 ○全体討議 各チームの代表に、チーム・ミーティングのまとめを発表させる。 ○教師による総括 ・本单元の成果、課題を明確化し、次单元(3年次選択)の目標を示す。 ・武道では、単に相手に勝つことをめざすだけではなく、礼法を身につけることなどを通して、人間として望ましい自己形成を重視していることを説明する。これまでの学習を振り返り、この点に関する成果を学習ノートにまとめさせる。	○本单元で学んだ相撲の基本的事項について書き出している。(知識・理解) ○試合の行い方や武道の伝統的な考え方について書き出している。(知識・理解)	○筆記試験 ○学習ノート
10	6. 学習ノートを仕上げ、提出する。 7. 整列、挨拶をする。	○本時の学習内容、自己評価、課題、感想を学習ノートに記入する。 ○本時を含めて全体を総括し、学習ノートにまとめる。		